

漢文「禁止・願望」識別100題ドリル 問題編

無料ダウンロード(縦書き・印刷可)

漢文の「禁止」と「願望」は、目印の漢字さえ見抜ければ確実に得点できる句法です。このドリルでは、各問の白文と書き下しを見て、その句がア(禁止)・イ(願望)・ウ(その他の否定)のどれにあたるかを答えます。よく似ていて混同しやすい否定の「不(ず)・非(あらず)・未(いまだくず)」も「ウ」として混ぜてあります。

やり方…まず答え(ア/イ/ウ)を頭の中で決めてから、下の「答え」を開いて確認しましょう。判断の決め手は次の3点です。

アⅡ禁止…勿・莫・無・毋を「なかれ」と読み、「くするな」と相手をやめさせる言い方。イⅡ願望…「くんと欲す」(文末)や、文頭の「願はくはくんと請ふくんと庶幾はくはくんと幸ひにく」。くしたい・くしてほしい。ウⅡその他の否定…「不(ず)・非(あらず)・未(いまだくず)・弗(ず)」など、ただ打ち消すだけの否定。命令でも願望でもない。「無・莫」が「くが無い(なし)」の意で使われる場合もここに入ります。

※例文は教科書レベルの有名句(『論語』など)と、句法がはっきり分かる作例を用いています。全100問、書き下しと答えはすべて整合させています。

〇Ⅰ. 勿(なか)レ施(ほど)コスコト於(おいて)人(ひと)ニ。

人に施(ほど)コスコト勿(なか)かれ。

Q2. 莫(なか)レ言(い)フコト其(そ)ノ過(あやま)チヲ。
其(そ)の過(あやま)ちを言(い)ふこと莫(なか)れ。

Q3. 母(なか)レ友(とも)トスルコト不(ぎ)ル如(し)カ己(おのれ)二者(もの)ヲ。
己(おのれ)に如(し)かざる者を友とすること母(なか)れ。

Q4. 無(なか)レ憚(はば)カルコト改(あらた)ムルニ。
改(あらた)むるに憚(はば)かること無(なか)れ。

Q5. 過(あやま)チテハ則(すなは)チ勿(なか)レ憚(はば)カルコト改(あらた)ムルニ。
過(あやま)ちては則(すなは)ち改(あらた)むるに憚(はば)かること勿(なか)れ。

Q6. 勿(なか)レ忘(わす)ルルコト父(ふ)母(ぼ)ノ恩(おん)ヲ。
父(ふ)母(ぼ)の恩(おん)を忘(わす)るること勿(なか)れ。

Q7. 莫(なか)レ輕(かろ)ンズルコト人(ひと)ヲ。
人を輕(かろ)んずること莫(なか)れ。

Q8. 母(なか)レ怠(おこた)ルコト学(まな)ブニ。
学(まな)ぶに怠(おこた)ること母(なか)れ。

Q9. 無(なか)レ恐(おそ)ルルコト。
恐(おそ)るること無(なか)れ。

Q10. 勿(なか)レ疑(うた)ガフコト其(そ)ノ言(げん)ヲ。
其(そ)の言(げん)を疑(うた)がふこと勿(なか)れ。

〇11. 莫(なか)レ為(な)スコト不善(ふぜん)ヲ。
不善(ふぜん)を為(な)すこと莫(なか)れ。

〇12. 母(なか)レ欺(あざむ)クコト人(ひと)ヲ。
人を欺(あざむ)くこと母(なか)れ。

〇13. 無(なか)レ動(うご)クコト。
動(うご)くこと無(なか)れ。

〇14. 勿(なか)レ復(また)言(い)フコト。
復(また)言(い)ふこと勿(なか)れ。

〇15. 莫(なか)レ近(ちか)ヅクコト之(これ)ニ。
之(これ)に近(ちか)づくこと莫(なか)れ。

〇16. 母(なか)レ妄(みだ)リニ語(かた)ルコト。
妄(みだ)りに語(かた)ること母(なか)れ。

〇17. 無(なか)レ違(たが)フコト師(し)ノ教(をし)ヘニ。
師(し)の教(をし)へに違(たが)ふこと無(なか)れ。

〇18. 勸(すす)ム君(きみ)ニ莫(なか)レ惜(をし)ムコト金(きん)縷(る)ノ衣(い)ヲ。
君(きみ)に勸(すす)む金(きん)縷(る)の衣(い)を惜(をし)むこと莫(なか)れ。

〇19. 勿(なか)レ憂(うれ)フルコト。
憂(うれ)ふること勿(なか)れ。

Q20. 莫(なか)レ笑(わら)フコト人(ひと)ノ拙(つた)なキヲ。
人の拙(つた)なきを笑(わら)ふこと莫(なか)れ。

Q21. 母(なか)レ貪(むさぼ)ルコト財(ざい)ヲ。
財(ざい)を貪(むさぼ)ること母(なか)れ。

Q22. 無(なか)レ後(おく)ルコト期(き)ニ。
期(き)に後(おく)ること無(なか)れ。

Q23. 勿(なか)レ怠(おこた)ルコト。
怠(おこた)ること勿(なか)れ。

Q24. 莫(なか)レ起(おこ)スコト之(これ)ヲ。
之(これ)を起(おこ)すこと莫(なか)れ。

Q25. 母(なか)レ恃(たの)ムコト富(とみ)ヲ。
富(とみ)を恃(たの)むこと母(なか)れ。

Q26. 無(なか)レ争(あそ)フコト。
争(あそ)ぶこと無(なか)れ。

Q27. 勿(なか)レ食(くら)フコト之(これ)ヲ。
之(これ)を食(くら)ふこと勿(なか)れ。

Q28. 莫(なか)レ怒(いか)ルコト。
怒(いか)ること莫(なか)れ。

Q29. 母(なか)レ自(みづか)ラ欺(あざむ)クコト。
自(みづか)ラ欺(あざむ)クコト母(なか)れ。

Q30. 無(なか)レ多(おほ)ク言(い)フコト。
多(おほ)ク言(い)フコト無(なか)れ。

Q31. 勿(なか)レ責(せ)ムルコト人(ひと)ヲ。
人(ひと)ヲ責(せ)ムルコト勿(なか)れ。

Q32. 莫(なか)レ飲(の)ムコト酒(さけ)ヲ。
酒(さけ)ヲ飲(の)ムコト莫(なか)れ。

Q33. 母(なか)レ妬(ねた)ムコト人(ひと)ヲ。
人(ひと)ヲ妬(ねた)ムコト母(なか)れ。

Q34. 我(われ)欲(ほつ)ス学(まな)バント焉(これ)ヲ。
我(われ)焉(これ)ヲ学(まな)バんと欲(ほつ)す。

Q35. 願(ねが)ハクハ見(み)ン其(そ)ノ書(しよ)ヲ。
願(ねが)はくは其(そ)ノ書(しよ)ヲ見(み)ん。

Q36. 請(こ)フ改(あらた)メン之(これ)ヲ。
請(こ)ふ之(これ)ヲ改(あらた)めん。

Q37. 庶(幾)コヒねが)ハクハ之(これ)成(な)ラン。
庶(幾)コヒねが)はくは之(これ)成(な)らん。

Q38. 幸(さいは)ひに来(きた)レ吾(わ)ガ家(いへ)ニ。
幸(さいは)ひに吾(わ)が家(いへ)に來(きた)れ。

Q39. 欲(ほつ)ス歸(かへ)ラント故郷(こきょう)ニ。
故郷(こきょう)に歸(かへ)らんと欲(ほつ)す。

Q40. 願(ねが)ハクハ聞(き)カン子(し)ノ志(こころぎし)ヲ。
願(ねが)はくは子(し)の志(こころぎし)を聞(き)かん。

Q41. 請(こ)フ言(い)ハン其(そ)ノ故(ゆゑ)ヲ。
請(こ)ふ其(そ)の故(ゆゑ)を言(い)はん。

Q42. 吾(われ)欲(ほつ)ス見(み)ント之(これ)ヲ。
吾(われ)之(これ)を見(み)んと欲(ほつ)す。

Q43. 願(ねが)ハクハ得(え)ン一日(いちにち)ノ閑(かん)ヲ。
願(ねが)はくは一日(いちにち)の閑(かん)を得(え)ん。

Q44. 請(こ)フ從(したが)ハン君(きみ)ニ。
請(こ)ふ君(きみ)に從(したが)はん。

Q45. 庶幾(こひねが)ハクハ及(およ)バン之(これ)ニ。
庶幾(こひねが)はくは之(これ)に及(およ)ばん。

Q46. 幸(さいは)ヒニ教(をし)ヘヨ我(われ)ニ。
幸(さいは)ひに我(われ)に教(をし)へよ。

Q47. 欲(ほつ)ス窮(きは)メント千里(せんり)ノ目(め)ヲ。
千里(せんり)ノ目(め)を窮(きは)めんと欲(ほつ)す。

Q48. 願(ねが)ハクハ為(な)ラン君(きみ)ガ臣(しん)ト。
願(ねが)はくは君(きみ)が臣(しん)と為(な)らん。

Q49. 請(こ)フ問(と)ハン其(そ)ノ詳(つまび)ラカヲ。

請(こ)ふ其(そ)ノ詳(つまび)らかを問(と)はん。

Q50. 欲(ほつ)ス報(むく)イント国(くに)ニ。
国(くに)に報(むく)いと欲(ほつ)す。

Q51. 願(ねが)ハクハ留(とど)メン之(これ)ヲ。
願(ねが)はくは之(これ)を留(とど)めん。

Q52. 請(こ)フ試(こころ)ミン之(これ)ヲ。
請(こ)ふ之(これ)を試(こころ)みん。

Q53. 欲(ほつ)ス助(たす)ケント之(これ)ヲ。
之(これ)を助(たす)けんと欲(ほつ)す。

Q54. 願(ねが)ハクハ与(とも)ニ行(ゆ)カン。
願(ねが)はくは与(とも)に行(ゆ)かん。

Q55. 請(こ)フ留(とど)マラン此(こ)ニ。
請(こ)ふ此(こ)に留(とど)まらん。

Q56. 欲(ほつ)ス知(し)ラント其(そ)ノ名(な)ヲ。
其(そ)の名(な)を知(し)らんと欲(ほつ)す。

Q57. 願(ねが)ハクハ早(はや)ク至(いた)ラン。
願(ねが)はくは早(はや)く至(いた)らん。

Q58. 請(こ)フ受(う)ケン教(を)しヘヲ。
請(こ)ふ教(を)しへを受(う)けん。

Q59. 欲(ほつ)ス渡(わた)ラント河(かは)ヲ。
河(かは)を渡(わた)らんと欲(ほつ)す。

Q60. 庶(こ)ひねがハクハ全(ま)つとウセン之(これ)ヲ。
庶(こ)ひねがはくは之(これ)を全(ま)つとウせん。

Q61. 幸(さい)はヒニ恕(ゆる)セ我(わ)ガ罪(つ)みヲ。
幸(さい)はひに我(わ)が罪(つ)みを恕(ゆる)せ。

Q62. 願(ねが)ハクハ見(ま)みエン大王(だ)いおうニ。
願(ねが)はくは大王(だ)いおうに見(ま)みえん。

Q63. 請(こ)フ書(しよ)セン之(これ)ヲ。
請(こ)ふ之(これ)を書(しよ)せん。

Q64. 欲(ほつ)ス語(かた)ラント君(き)みニ。
君(き)みに語(かた)らんと欲(ほつ)す。

Q65. 願(ねが)はくは左右(さいう)に事(つか)へん左右(さいう)ニ。
願(ねが)はくは左右(さいう)に事(つか)へん。

Q66. 欲(ほつ)ス登(のぼ)ラント山(やま)ニ。
山(やま)に登(のぼ)らんと欲(ほつ)す。

Q67. 不(ず)行(ゆ)カ。
行(ゆ)かず。

Q68. 我(われ)不(ず)知(し)ラ其(そ)ノ故(ゆゑ)ヲ。
我(われ)其(そ)の故(ゆゑ)を知(し)らず。

Q69. 是(これ)非(あら)ズ吾(わ)ガ罪(つみ)ニ。
是(これ)吾(わ)が罪(つみ)に非(あら)ず。

Q70. 未(いま)ダ嘗(かつ)テ見(み)ズ也(なり)。
未(いま)だ嘗(かつ)て見(み)ず。

Q71. 城(しろ)中(なか)無(な)シ人(ひと)。
城中(じょうちゆう)人(ひと)無(な)し。

Q72. 人(ひと)莫(な)シ知(し)ル之(これ)ヲ者(もの)。
之(これ)を知(し)る者(もの)莫(な)し。

Q73. 吾(われ)弗(ず)能(あた)ハ救(すく)フコト。
吾(われ)救(すく)ふこと能(あた)はず。

Q74. 不(ず)如(し)カ帰(かへ)ルニ。
帰(かへ)るに如(し)かず。

Q75. 非(あら)ズ其(そ)ノ人(ひと)ニ。
其(そ)の人(ひと)に非(あら)ず。

Q76. 未(いま)ダ成(な)ラ。
未(いま)だ成(な)らず。

Q77. 天下(てんか)莫(な)シ強(つよ)キハ焉(これ)ヨリ。
天下(てんか)焉(これ)より強(つよ)きは莫(な)し。

Q78. 不(ず)敢(あ)ヘテ進(すす)マ。
敢(あ)へて進(すす)まず。

Q79. 民(たみ)無(な)シ信(しん)。
民(たみ)信(しん)無(な)し。

Q80. 我(われ)非(あら)ズ聖人(せいじん)ニ。
我(われ)聖人(せいじん)に非(あら)ず。

Q81. 未(いま)ダ知(し)ラ生(せい)ヲ。
未(いま)だ生(せい)を知(し)らず。

Q82. 不(ず)患(うれ)ヘ人(ひと)ノ不(ぎ)ルヲ己(おのれ)ヲ知(し)ラ。
人(ひと)の己(おのれ)を知(し)らざるを患(うれ)へず。

Q83. 此(これ)非(あら)ズ人(ひと)ノ情(じょう)ニ。
此(これ)人(ひと)ノ情(じょう)に非(あら)ず。

Q84. 弗(ず)聞(き)カ其(そ)ノ声(こゑ)ヲ。
其(そ)ノ声(こゑ)を聞(き)かず。

Q85. 未(いま)ダ有(あ)ラ也(なり)。
未(いま)だ有(あ)らず。

Q86. 不(ず)可(べ)からズ不(ず)学(ま)なバ。
学(ま)なばざるべからず。

Q87. 人(ひと)非(あら)ズ木石(ぼくせき)ニ。
人(ひと)木石(ぼくせき)に非(あら)ず。

Q88. 不(ず)得(え)已(や)マ。
已(や)むを得(え)ず。

Q89. 未(いま)ダ可(べ)からズ也(なり)。
未(いま)だ可(べ)からず。

Q90. 我(われ)不(ず)欲(ほ)つセ此(これ)ヲ。
我(われ)此(これ)を欲(ほ)つせず。

Q91. 莫(な)シ大(だい)ナルハ於(おいて)孝(こう)ヨリ。
孝(こう)より大(だい)なるは莫(な)し。

Q92. 非(あら)ズ独(ひとり)我(われ)ノミ。
独(ひとり)我(われ)のみに非(あら)ず。

Q93. 不(ず)遠(とほ)カラ千里(せんり)ヲ。
千里(せんり)を遠(とほ)しとせず。

Q94. 未(いま)ダ晩(おそ)カラ也(なり)。
未(いま)だ晩(おそ)からず。

Q95. 吾(われ)不(ず)能(あた)ハ去(さ)ルコト。
吾(われ)去(さ)ること能(あた)はず。

Q96. 天(てん)無(な)シ二日(にじつ)。
天(てん)に二日(にじつ)無(な)し。

Q97. 非(あら)ズ不(ず)説(よろこ)バ子(し)ノ道(みち)ヲ。
子(し)の道(みち)を説(よろこ)ばざるに非(あら)ず。

Q98. 不(ず)亦(また)楽(たの)シカラ乎(や)。
亦(また)楽(たの)しからずや。

Q99. 未(いま)ダ仁(じん)ナラ。
未(いま)だ仁(じん)ならず。

Q100. 我(われ)不(ず)願(ねが)ハ富貴(ふうき)ヲ。
我(われ)富貴(ふうき)を願(ねが)はず。

